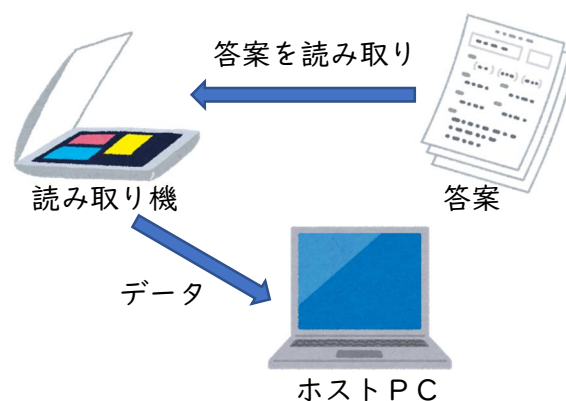


デジタル採点システムのイメージについて

1 読み取り

専用機で答案を読み取る。(記述とマークを同時に読み取り可能)

短答を含む記述式部分は、画像としてホストPCに保存する。選択問題部分は、マークシートのため、読み取ったデータをホストPCに保存すると同時に自動採点され、得点も集計される。

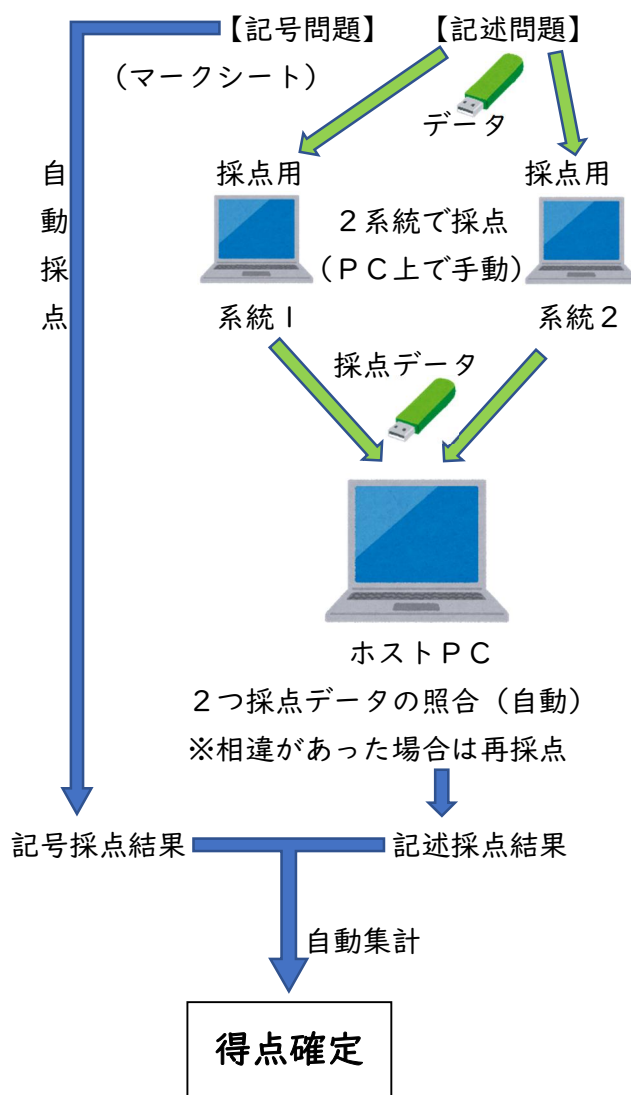


2 採点 (記述式部分)

各教科で担当する問題を決め、担当者がそれぞれPCの画面上で採点を行う。

基本的に○か×を付けていく。部分点のある問題の対応も可能で、採点と同時に得点が自動集計される。配点は事前に県教委で入力しておくことができる。

この採点を完全に分離した2システムで行う。同一の担当者が、システム1とシステム2の同一問題を担当することはないようにする。



3 点検

2システムで行った採点データをホストPCに取り込み、2つの採点データを自動で突き合わせる(照合させる)。相違があった場合、採点者2名による再採点を行う。マークシートの塗りつぶしミス等の確認を行う。

4 記号問題と記述式問題の採点結果を集計し、得点を確定させる。

【採点画面例】

① 正答と受検者の解答とを並べて採点



② 複数の解答を同一画面上に並べて採点

